

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	OZデイからつ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 7日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 2月 7日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による支援を受けられること。	保育士がそれぞれの発達の状況や満遍なく刺激を得られるよう鑑み、活動計画を立案、運営し、訓練士が活動に沿った姿勢調整や、より認識しやすい活動の提示方法を提案、実施し、看護師が吸引などの医療ケア、体調やサチュレーションのモニタリングを行い、安全に活動提供できるようにしている。	それぞれの専門性を高めること、利用者様の発達段階や得意な事をスタッフ全員で把握し、必要な支援を提供できるようにしていく。
2	児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護を運営しているため、多年齢の交流が出来る。	年齢に応じた関わり、活動の提供という視点で、年代別に活動を行う場合と、一緒に活動を共有する場合と、わけて提供している。一緒に共有する活動の際はスタッフが介しながらか触れ合ったり、お話ししたりするようにしている。	全員で行える活動、行事の提供と一緒に屋外への散歩や外出を計画していく。
3	周囲の資源が豊富。	徒歩圏内に海や小さな公園、神社があり、季節ごとの屋外での活動を提供しやすい。また駅が目の前にあり、電車を見に行ったり実際に乗ったりすることが行いやすい。周囲の店舗に買い物に行くこともあり、地域の方との交流もある。	気候がよい時は限られているが、屋外への散歩や電車移動などで声を掛けたり交流をもつことで、地域の方に認知してもらい機会を増やす。またご家族様が連れていくのが難しい海や駅、神社などに行くなかで、そこでしか経験できないことを経験する機会を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での経験を促しにくい。	3事業合算での定員のため、児童発達支援のみの大きな集団を作ることが難しく、集団での遊びややり取りなどを経験し頂くことが難しい。	地域の園との交流や地域での交流を行い、同年代の子どもたちとの交流を図っていく。
2	利用者様の個性が高くなったため、施設設備の統一性が図りにくい。	賃貸物件であるため、改修にも限界がある。また、利用者様の個性が高くなったため、今までの環境設定では対応が難しい場面が出てきた。	現在も道具や備品を購入して、安全にお預かり出来るよう環境設定しており、それらを継続するとともに、会議などで危険な場面や箇所がないかモニタリングして安全にお預かりできるように設定していく。
3	事業所外での研修、専門職の研修への参加が難しい。	営業日はスタッフの人数の問題があり、外部研修に参加が難しい。休日は家庭の状況的に参加が難しいスタッフが多い。	オンライン、オンデマンドの研修や事業所に来てもらえる県の研修などを活用し、業務にもプライベートにも負担なく勉強できる研修の情報を提供していく。

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	OZテイからつ
------	---------

公表日 2026年3月28日

利用児童数 6

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1	0	0	・カラフルで良い	個別性が高く、必要な道具が増えたことでスペースが足りないと感じられることもあるかと思ひます。今後も工夫しながら安全に過ごして頂けるように努めていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1	0	0	・手厚い対応をしていただけている	ありがとうございます。職員の配置は法令上適切に行っています。職員の急な休み等でご迷惑おかけすることがありますので、できる限りそうならないよう配置を工夫していきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	0	0	0	・バリアフリーはそうだと思う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	4	0	0	0	・気分が上がる季節感	ありがとうございます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0	・特色のあるプログラムで、写真を見ると楽しそう	ありがとうございます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	0		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1	0	0		流れを同じにし理解や成長を促しやすい部分と、新しい体験、成長を促せる活動内容を実施しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域での子どもと活動する機会がありますか。	1	2	0	1	・わからないけれども、交流会などあるならさかんかしたい	令和7年度は交流を企画することはできませんでしたが、散歩や公園に遊びに行った時に地域の子どもさん達と関わる機会がありました。今後感染症に気を付けながら企画したいと考えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0	・丁寧にLINEでも繋がれるのがありがたい	ありがとうございます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	1	1		ご家族様向けにペアレントトレーニング等の研修や情報提供は行っていますが、個別にお話する際に聞き方等をお伝えする機会があります。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	0	・何でも話せる雰囲気なので、何でも話せています。 ・連絡帳、口頭で伝わっている	ありがとうございます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	0	1	0		モニタリング時にお話をうかがう機会を設けています。 また口頭でお伝えすることもあります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	0	2	・運動会は実施されたが参加できていないのでわからない	運動会などの行事の際に交流もてよう考えています。ご希望があるようでしたら、ご家族やきょうだいさんの交流会も支援していけたらと考えています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	1		自己評価や支援プログラムはホームページに掲載していますが、日々の活動や行事予定はその都度お知らせしたり、連絡帳や写真でのご報告になっております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1	0	1	・訓練はわからない	マニュアルは策定しており、策定していることは年度初めにお知らせはしましたが、内容説明や訓練実施については周知が足りておりません。Instagramの投稿を利用して周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	1		訓練実施していますが、マニュアルと同様に周知していきたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	0	・迅速に連絡、説明していただき、安心できた	ありがとうございます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3	0	0	1	・先生やお友達の声が聞こえてくると喜ぶ。	ありがとうございます。 安心感をもって通って頂けるよう、関わり方や環境設定等配慮していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	0	0	1	・迎えの車の音が聞こえると、じーっと聞いて期待しているような表情をする。	ありがとうございます。 楽しみにして頂けるよう、事業所で過ごす時間の充実を図ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	・とても満足しています。 ・様々なプログラムを実施していただき、大変ありがたいです	ありがとうございます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
OZデイからつ		2026年3月28日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2		日々の利用者様の人数に変動があるため、バギー等の道具もあることもあり、スペースが足りないと感じることもあります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2		制度上の配置は適切ですが、職員の退職、入職での職員数の増減があり、業務に時間がかかる時があります。今後入職予定ですので、改善していけると考えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		バリアフリーではありませんが、多様な利用者様に御利用いただいているため、それぞれの状況に合わせる事が難しい時もあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	3		・利用者様の個性が高くなっているため、今後も改善が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		第三者評価は行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	・機会があっても受講する時間確保が難しい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2		活動プログラム立案は保育士中心に行っており、実施中や前にも他職種から方法や提示の仕方の提案を行うこともあります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4		支援終了後は時間がないため、会議やモニタリングの際に共有していることが多いです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		会議の時に保育園との情報共有を行っています。園への移行も図りたいですが、医療的ケアへの理解や受け入れなど準備が必要ですので、交流をおこないながら準備していきたいと考えています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	2		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		なかなか機会がありません。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		・今年度は実施できていません。 今後行えたらと考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		ペアレントトレーニングや研修は実施できていませんが、必要時に随時お話を聞き、情報提供などの対応を行うようにしています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		保護者会の開催は行っていないですが、行事の際に保護者様や兄弟さんの交流を図っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		

非常 時 等 の 対 応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1		個人情報については、写真のSNS投稿や情報提供の際にも、情報漏洩にあたらぬか注意して行っています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		感染症等の理由で事業所に地域の方を前くことはありませんが、外出した際に地域の方々（お店など）と関わる機会があります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		・アレルギーに関する指示書が必要な利用者様が現在おられません、必要な時は指示書に基づいて対応いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全計画を作成し、年度初めに職員に周知しております。計画のみに頼らず、日々危険性がある場合は対応をし、未然に事故、ケガを防ぐよう努めています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		虐待防止研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0			